

# 第32回芝山はにわ祭写真コンクール

問 まちづくり課 産業振興係 ☎7733918

昨年11月に行われた「芝山はにわ祭」を題材にして開催された「写真コンクール」。厳正な審査の結果、応募総数202点の中から選出された優秀な作品をご紹介します。

(順不同・敬称略)

## ◎優秀賞 (5点)



### 芝山町議会議長賞

「祝詞」 社 信男 (芝山町)



### 芝山町教育長賞

「こなや踊」 高宮 國一 (習志野市)



## ◎最優秀賞 (1点)

### 芝山はにわ祭実行委員長賞

「美少女」 池嶋 清 (八街市)



### 芝山町長賞

「辿りつき今」  
小澤 栄二 (富里市)



### 芝山町商工会長賞

「幸せな家族」  
加藤 勝臣 (我孫子市)



### 芝山町観光協会長賞

「古代の森」  
高宮 貴彦 (習志野市)

## ◎特別賞

- 成田国際空港株式会社賞  
「いざ本番」 多田 秀男 (茨城県神栖市)
- 千葉県観光物産協会会長賞  
「行くぞ」 五木田 治巳 (芝山町)
- 日本航空賞  
「あとひと息」 伊藤 浩仁 (旭市)
- 全日空賞  
「見詰める」 加藤 雄之輔 (柏市)
- 日本オーチス・エレベータ賞  
「古代の子ども」 菅谷 きぬ子 (匝瑳市)
- コクヨファニチャー賞  
「みこしパレード」 嵩山 清 (銚子市)
- 千葉県写真連盟賞  
「雨やんでいよいよ芝山はにわ祭」 椎名 高正 (横芝光町)
- 九十九里地域観光連盟会長賞  
「古代人の手鏡」 栖原 勝男 (八街市)

## ◎入選

- ・「はにわみこし」 泉 英伸 (千葉市)
  - ・「お参り」 越川 安之 (山武市)
  - ・「交歓の挨拶」 久古 芳江 (匝瑳市)
  - ・「チョウー最高」 松丸 きく (柏市)
  - ・「ハットが似合う古代人」 磯部 博之 (匝瑳市)
  - ・「芝山仁王尊階段下から」 津村 猛 (千葉市)
  - ・「はにわ祭の子達ち」 越川 寿雄 (山武市)
  - ・「あめ細工」 江波戸 昭 (匝瑳市)
  - ・「ツーショット」 南波 靖一郎 (匝瑳市)
  - ・「なかよし」 松澤 恭一 (香取市)
  - ・「古代人の少女」 草野 幸男 (香取市)
  - ・「出番前」 松丸 正 (柏市)
  - ・「古代の美女達」 沼尻 志津江 (多古町)
  - ・「古の舞い」 小椋 利昭 (八街市)
  - ・「町長へ来年も豊作のお告げ」 松澤 フサ (匝瑳市)
- ◎努力賞
- ・「かわいい武人」 青柳 幹市 (東庄町)



# 知つてゐるつもり (112)

学芸員 奥住 淳

## ◆町内小学校の成り立ち②—東小学校—

### 千代田小学校と岩山小学校

芝山町立東小学校は、昭和50（1975）年4月に千代田小学校と岩山小学校が統合し、防音による新校舎を建設して教職員11名・児童数103名で開校しました。ここでは、千代田小学校と岩山小学校の沿革を辿ってみます。

### 池田小学校（千代田小学校）

千代田小学校の前身は、明治6（1873）年11月15日に開校した池田小学校です。同年4月に木更津県へ提出された「飯櫃村仮小学校設立願」によれば、飯櫃村・山田村・小原子村・岩山村の浅川で学区を形成し、教員は片貝村（現九十九里町）出身の古川南峰、児童は68名を見込みました。費用は、書籍器械買入れ、教員給料、燃料、校舎修繕費など5カ年分計5000円と見積もり、飯櫃村の池田利左衛門が負担し、



千代田小学校校舎（昭和初期）

校舎も自宅を提供しました。そのため、学校名は池田氏の名字を採用し、池田小学校としました、利左衛門は、明治2年に「明倫塾」という私塾を開いていましたので、これを発展させて小学校を開校しました。その後、明治11年には蓮福寺に校舎を移転し（児童数は男37名女4名）、同14年には旧掛川藩士の家に



岩山小学校校舎（昭和初期）

生まれ、千葉師範学校を卒業した磯辺謙吉を教員に迎えました。明治20年には大里小学校と合併、同22年5月に池田栄亮（利左衛門の子で県議会議長）の寄付により新校舎を建設し、同年11月には千代田村の誕生に伴い千代田小学校と改称しました。昭和8年には稲葉への校舎移転に伴い、蓮福寺の校舎跡地に池田栄亮と磯辺謙吉を称える頌徳碑が建てられました。

### 西加茂小学校（大里小学校）

明治6年11月、西加茂村では寺子屋のあった普賢院に西加茂小学校が開校しました。この時、後に貴族院議員や京都府知事となる白樺出身の木内重四郎が入学しています。明治

8年11月には西加茂村・東加茂村・住母家村・坂志岡村・稲葉村・白樺村が合併して大里村が誕生すると、大里小学校と改称（児童数は男26名女4名）、同22年2月に池田小学校と合併しました。

### 岩山小学校

明治5年9月、岩山村の麻生元右衛門（後に千代田村長を務める）と朝倉村の手島利左衛門が発起人となり、岩山小学校が児童18名で開校しました。学区は岩山村と朝倉村とし、校舎は麻生氏の居宅を使用、教員には旧松尾藩士の柴田勝を迎えました。明治9年には、有志から資金を集め、岩山村法橋寺の仮校舎へ移転、同16年8月に岩山村字椎木谷<sup>しほのきやう</sup>1495番地に新校舎を建設しました（児童数は男49名女7名）。明治22年には千代田村の誕生により、千代田小学校岩山分校となりましたが、同25年9月には分校を廃止して、再び岩山小学校となりました。

また、千代田村では明治40年の小学校令改正により、義務教育の年限が6年に延長され児童数が増加したことにより、村内3校（岩山・千代田・菱田）の統合を検討する千代田村小学校統一協議会が設置されましたが、統合されることなく存続しました。